

+++++

「植物と人々の博物館メールマガジン」 第43号 2018年6月5日発行

+++++

雑穀見本園に色々播きました。陸稲、アワ、ヒエ、シコクビエ、甲州トウモロコシ、センニンコクはよく発芽しました。モロコシ、キビ、ハトムギは不良ですので追い播きします。こぼれたハトムギとヒエの種子はよく発芽し、生育しています。キヌアはほとんど発芽しませんでした。自宅プランタに播いたものも発芽は少なく、4個体しか育っていません。雑草のシロザと識別できるかについては自信ないです。テントウムシダマシもこれらを区別せずに、著しく食害を与えています。シロチョウが舞い、ウリハムシが飛来して、キャベツやカボチャの良い苗も哀れな姿になりました。ネギやニンジンには来ません。防虫ネットをかけるしかないです。ダーチャ（家庭菜園）の有機無農薬も手間がかかります。エンドウ4品種はものすごく取れて、いく人かの方に差し上げましたが、それでも毎日、何千円分も美味しく食べています。

日本村塾ゼミで、自然のなかでの暮らしや生業について皆様と一緒にもっと学び、山村に暮らす楽しみ、人々の幸せや誇りについて語り合いたいです。都市民はもっと自然に親しまないと、人間でないものAIの下僕になってしまいます。仔細を見ないで走り過ぎてはいけない、細部まで忘れてはいけない、時空間の今を大事にしないといけない、などと思うのです。

会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。なお、自然文化誌研究会の全体の活動は会誌「ナマステ」季刊でお知らせしています。友の会会員になっていただければうれしいです。また、顔見知り信頼のクチコミで友人・知人に転送伝達していただけるとありがたいです。

〇報告

1. **植物と人々の博物館** 学大探検部収集の民具類も整理・収蔵・展示しています。引き続きご協力をお願いします。学大小菅フィールド実習（6月2日～3日）で、小柳先生引率で16名の環境教育専修生が見学に来てくださいました。小菅村民の皆様にも山村暮らしについて座談会や面接調査で教えていただきました。ご協力ありがとうございました。

2. **雑穀街道とFAO世界農業遺産** 普及会関係団体のホームページリンク集を作りたいと思います。ゆっくりとでも、つながりの輪が広がるように期待します。FAO世界農業遺産関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道』では、**雑穀街道普及会**の賛同者を募っています。秩父からも賛同して下さる方が増えています。賛同が広がるようにどうぞご援助くださいますようお願いいたします。FAO世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように、一層のご助力をお願いします。下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。世界農業遺産などに関する紙ベースの資料・図書は「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」（小菅村井狩）で閲覧していただけます。今年は申請に至らなかったため、2年後の申請を目指すことになります。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

なお、『日本雑穀のむら』序章で雑穀の栽培史、第4章で、雑穀街道地域の調査研究の成果（1974～2017）をまとめてあります。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/milletn/jnmpilvil.html>

3. 森とむらの図書室

ネパール、ブータン関係を整理し、食文化・民俗関係を整理しています。35mmスライド・ファイルも順次整理しています。財団法人森とむらの会の蔵書や政策提言報告書をお預かりしています。順次資料のリストは公開しますので、ご利用ください。

4. **藤野での雑穀栽培講習会**は駅前の畑を藤野倶楽部のご厚意でお借りして続けます。6月3日にキビ、アワ、モロコシの種まきをしました。5人でこの活動について話し合いました。趣旨は「いろんなものを少しずつ、粟、黍、稗、モロコシ、麦、陸稲、大豆など穀類を中心とした作物栽培、および栽培法の継承、藤野ローカルシードバンクの管理、および在来種の継承、伝統知、生物文化、栄養学、医学など自然の摂理にかなった知の共有、雑穀街道（小菅村、西原、藤野、相模湖…）のつながり創出」ということです。月1回ほどのペースで農作業するそうです。よかったらご参加ください。

5. **西原の雑穀トラストのクラウド・ファンディング**は成立しました。若者たちが中川さんと一緒に、雑穀保存のために活躍しています。ぜひご参加ください。地域の貴重な雑穀たちを、引き継いでいきたいという思いで始まったプロジェクトです。

www.facebook.com/zakkokumura/

www.facebook.com/yamahatafarm/

www.facebook.com/SAIHALIFESITADAY/

〇予定

1. **開館作業予定日**：2018年6月2日（土）、8日（金）、15日（金）、20日（水）、29日（金）、7月6日（金）の予定です。

植物と人々の博物館／森とむらの図書室では、順次、図書・植物標本・資料や民具の展示解説をしています。ご利用くださるとともに、作業にご協力いただきたく、よろしく申し上げます。ご利用や協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。ご都合に合わせて、上記以外でも日程調整します。場所は小菅村井狩集落バス停近く、細川邸の前、道の駅臨時駐車場の坂を下ってすぐです。kibi20kijin@yahoo.co.jp

2. 「**憲法に環境原則を追加する提案**」についての研究会を認定NPO法人環境文明21（憲法部会）で行っています。次回は2018年6月21日（火）18～20pm、大崎。9月に議員会館でシンポジウムを予定し、その内容について話し合います。ご興味があれば詳細をお知らせします。現在の提案書（憲法前文と第三章環境を加筆）は次のホームページで読めます。

<http://www.kanbun.org/2017/170824teigen/170824teigen.html>

3. 講義：7月22日（日）午後1時～3時、話題：日本に伝播したアフリカ起源の栽培植物と料理。JICA 地球広場市ヶ谷。
4. 環境教育学会エクスカーション：8月27日（月）。小菅村、内容未定。
5. 日本村塾の自給農耕ゼミ、民族植物学ゼミ、扶桑こくゼミは、希望者があれば日時・場所・話題などを調整して、読書会を開催します。都市農業や家族農業の図書文献は森とむらの図書室（小菅および藤野分室）で閲覧できます。講演や研究報告はホームページで読めます。
6. 民族植物学第11号は編集中、遅れていてすみません。第12号の原稿締め切りは2018年7月とします。関東地方の雑穀栽培、アニミズム信仰論など準備しますが、ご寄稿を歓迎します。バックナンバーは第7号～第10号まで少しあり、希望者に差し上げます。第1号から第10号まで、すべての記事は植物と人々の博物館ホームページで読めます。メールマガジンもすべて記録してあります。ナマステ第132号には夏の活動予定や旅行記などのエッセイが載っています。自然文化誌研究会のホームページで読めます。
7. 『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』は民族・信仰について学びながら、南アジアについて、個人の現地調査の体験をまじえながら、自由に書いています。現在はスリランカとバングラデシュの雑穀を学んでいます。『日本雑穀のむら』は序章雑穀との出会い、補論1 雑穀の用語法を新たに公開しました。『環境学習原論』および『第四紀植物』、“Essence of Ethobotany”はまだ非公開ですが、書き進めています。これらは、下記の個人ホームページで読めます。引用して下さる場合は、順次必要に応じて改訂していきますので、「木俣（2018 未定稿）」としてくださるようお願いいたします。

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミューゼス研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） npo-inch@wine.plala.or.jp

公式HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行：木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

個人HP：生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

写真



森とむらの会の蔵書と政策提言等報告書も引き継いで管理しています。



藤野の雑穀畑、藤野駅のホームから見たところです。 小菅のヤマナシの木、左手方向に雑穀畑があります。